



# まるやま

## みんなかがやく

自分力：みがこう！じぶん 関係力：ふかめよう！つながり 創造力：つくろう！あした

新潟市立丸山小学校

学校だより 11号

令和6年12月16日

### 子どもがつくる！若竹祭 ～「創造力」「関係力」を高める子ども～

校長 福原 清訓

教育目標の具現化を図る「きらきらプロジェクト」の1つ「子どもがつくる若竹祭」を11月29日（金）に実施しました。「若竹祭」は、3年生以上の子どもたちが、学級でアイデアを出し合い、協働して出店をつくり、全校児童が店員やお客になって楽しむ活動です。

当日は、右の写真のように、様々な工夫で楽しめるゲーム形式の出店がたくさん見られました。ゲームの内容だけでなく、使用する道具や教室の飾り、ゲームの説明や案内も工夫して、丁寧に接客する子どもたちの姿が見られました。各学級で協力して準備してきたことがよく伝わってきました。少し待ち時間が長かった出店もありましたが、ゲームの丁寧な説明や所要時間が長くなったのは、創意工夫の裏返しと感じました。

活動後に子どもたちに話を聞くと、多くの子どもたちが、存分に出店を楽しんでいたことがわかりました。特に、初めて体験した1年生は、口々に「楽しかった～！」と話してくれました。2年生も「来年は出店を出したい！」という意気込みを語ってくれました。

米イリノイ大学名誉教授の心理学者エド・ディーナー博士らの研究によれば、「主観的幸福度の高い人は、そうでない人に比べて、創造性は3倍、生産性は31%、売り上げは37%も高い傾向にある」という結果が得られています。この研究対象は成人ですが、子どもも同様ではないかと推察することができます。つまり、「主観的幸福度が高い子どもは創造性も生産性も高い」と考えれば、「若竹祭」で存分に楽しさや達成感を味わって主観的幸福度を高めた子どもは、今後の様々な活動でさらに「創造力」を発揮すると考えられるのです。「創造力」が高まっていくことで、来年度の「若竹祭」が一層充実することが期待されます。

また、子どもたちは、「創造力」だけでなく、人・もの・こととつながる力「関係力」も高めていると感じました。出店づくりの話し合い、ゲームの道具や飾りづくり、接客対応などを通して、人・もの・こととのつながりを深めたと言えるでしょう。確かなつながりは、互いを支え合う学級・学校の基盤になります。支持的な学級・学校が基盤になって、子どもたちは、更に「自分力」「関係力」「創造力」を伸ばしていくのです。

もうすぐ、後期前半が終わり、冬休みに入ります。冬休み明けの後期後半も「自分力」「関係力」「創造力」を高めていけるように、子どもたちが生き生きと学ぶ姿をたくさんつくっていきたいと考えるのです。



✨きらきらスナップ✨



**校内授業研究 11/20**  
校内授業研究と中堅教員研修を兼ねて、2年1組で体育の授業研究を実施しました。

**第3回全校ボランティア活動 11/27**  
雨天で地域に出られなかったため、スマイリーチームで協力して、学校内をきれいにしました。



**若竹集会（図書委員会） 11/29**  
読書旬間の前に、読み聞かせやクイズで読書の楽しさを紹介しました。



**チビユニティ出前授業 12/5**  
チビユニティのメンバーが来校して、1・2年生にダンスを教えてくださいました。6年生には、夢の実現について話をしてもらいました。



**4年 出前授業 福祉を学ぶ 12/6**  
社会福祉協議会の方から福祉について教えていただきました。

**ステキな冬休みに！**  
冬休みのやくそくをまとめた「丸っ子のすてきな冬休み」を、お子さんを通じて配付しました。一緒に確認してください。「絶対になくしてはいけないもの『命』と『信頼』」を大切に、楽しくて安全なステキな冬休みにしてください。そして、ステキな新しい年をお迎えください。



**ステキな楽しい冬休みに！  
だからなくしてはいけないもの2つ**

|                        |                          |
|------------------------|--------------------------|
| <b>いのち</b><br><b>命</b> | <b>しんらい</b><br><b>信頼</b> |
|------------------------|--------------------------|

**新潟県学校保健会から表彰されました！**  
保健に関する児童への対応や取組が評価され、新潟県学校保健会から保健優良校として表彰されました。賞状と盾をいただきました。

